

◆◆実習の概要

I. 実習目的・目標

目的

知識・技術・態度を統合し、様々な健康レベルの対象に応じた看護ができる基礎的能力を養う。

目標

- 1 看護の対象である人間を総合的に理解し、その人に適した看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 2 知識・技術を統合し自ら考え創意工夫し看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 3 保健医療チームの一員としての役割を理解し、保健医療福祉との連携・協働を通じて看護を実践できる能力を養う。
- 4 命を尊び、命への畏敬の念を持ち看護倫理に基づいた看護ができる。
- 5 人間の喜び、悲しみ、苦しみを感じ取る心豊かな人間性を養う。
- 6 専門職業人として成長・発達し看護を追究する態度を養う。

Ⅱ. 実習時間内訳表

教育内容	単位数	時間数	内 訳				
			科 目	単 位	時 間	学 年	
専門分野Ⅰ	3	135	基礎看護学実習Ⅰ 人間関係成立・対象の日常生活援助実習	1	45	1	
			基礎看護学実習Ⅱ 看護過程の展開・対象の日常生活援助実習	2	90	1	
専門分野Ⅱ	6	270	成人看護学実習Ⅰ セルフマネジメント・ セルフケア再獲得に向けての看護実習	2	90	2～3	
			成人看護学実習Ⅱ 健康の危機状況にある人の看護実習	2	90	2～3	
			成人看護学実習Ⅲ 緩和ケアを必要とする人の看護実習	2	90	2～3	
	4	180	老年看護学実習Ⅰ 高齢者の日常生活援助実習	2	90	2	
			老年看護学実習Ⅱ 健康障害のある高齢者の看護実習	2	90	2～3	
	2	90	小児看護学実習	2	90	2～3	
	2	90	母性看護学実習	2	90	2～3	
	2	90	精神看護学実習	2	90	2～3	
	統合分野	2	90	在宅看護論実習	2	90	2～3
		2	90	看護の統合実習	2	90	3
合 計				23	1035		

Ⅲ. 実習進度

年度	月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		2019 年度	1 年次							基礎看護学実習Ⅰ			
2020 年度	2 年次				(老年看護学実習Ⅰ) 専門分野Ⅱ実習						(在宅看護論実習) 統合分野 専門分野Ⅱ実習		
2021 年度	3 年次			(在宅看護論実習) 統合分野 専門分野Ⅱ実習				(看護の統合実習) 統合分野 専門分野Ⅱ実習					

IV. 修了認定 「授業及び学科目修了認定等に関する規程」

1 修了認定は実習科目の実習単位で行う。

基礎看護学実習 I は 1 単位 4 5 時間、その他の実習は 2 単位 9 0 時間とする。

2 下記の 3 項目に合格したものを認定する。

1) 出席時間

出席時間は、規定時間の 4 / 5 を超える出席時間を必要とする。

(規定時間が、4 5 時間の場合は 3 7 時間、9 0 時間の場合は 7 3 時間)

2) 実習目標の到達度 (実践内容及び態度)

実習評価は、実習評価表に基づき 1 0 0 点をもって満点とし、6 0 点以上を合格とする。

3) 看護学習記録、及び、提出期限

(1) 看護学習記録はすべてそろえ、指定された日時を提出期限とする。

(2) 指定日時より記録提出が遅れた場合は減点となる。